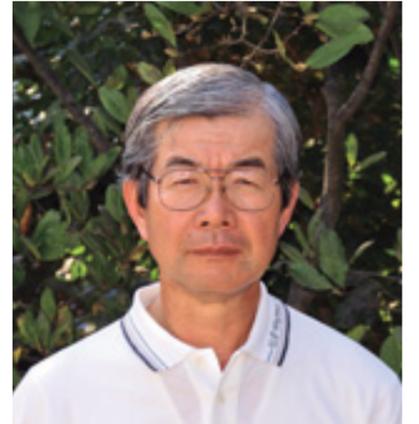


いきいき
まえばし人



第2回県農業賞を受賞
茂木 行雄さん・61歳
泉沢町

循環型農業で安全な農畜産物を

農業振興に努力している農業従事者を対象とした第2回県農業賞を受賞。創意工夫しながら農業技術を上させ、地域の農業振興に貢献している点などが評価された。

「わたしより農業に貢献している人はたくさんいるので、受賞には驚いています。賞をいただけたことはとてもうれしいです」

昨年度までJA前橋市養豚部会長を務めた。現在、豚の繁殖から肥育までの一貫経営をしながら、米麦の生産も行っている。

養豚し、そこから堆肥を作り、それを米麦の肥料として使用する循環型農業を実践。

「昔はカイコの餌であるクワには多くの肥料が必要なので、自前の堆肥を使っていました。それが循環型

農業の原点、農業の基本であると考えています。その後、土地改良を契機に養豚経営が中心になり、現在の形になりました」

農業においても経営を考えていかなければいけないと語る。継続的に農業をするには、化学肥料に頼ってはいけません。堆肥などの有機肥料が必要であり、それを自家供給できることは経費節減にもつながっている。

豚の世話は毎日必要。米麦の種まきや収穫など、農繁期には仕事量が増えてしまうのが苦労する点という。

「農業一筋だったので、今後はゆとりを持って自分の時間をつくっていきたくですね」

これからは人生を楽しみながら循環型農業で安全な農畜産物を供給してもらいたい。



思い思いに楽しく買い物

9月13日、敷島公園松林で前橋ふれあいバザールが行われました。フリーマーケットをはじめ、ステージ発表や野だてコーナーなどさまざまなイベントを開催。さわやかな秋晴れの中、多くの人々が訪れ、大盛況の1日となりました。

戦争の歴史忘れずに



来年3月31日まで、臨江閣で「前橋空襲と都市復興」展を開催しています。空襲後、焼け野原と化した市街地の写真や焼夷弾の模型などを展示。訪れた人たちは真剣な顔つきで見入っていました。

親子でバスを楽しく学習

9月20日はバスの日、この日、児童文化センターでバスの体験学習が行われました。バスクイズや乗車体験、写真撮影会などを実施。大勢の親子連れが大切な公共交通機関であるバスについて楽しく学びました。



グロースアップ



ボールを追いかけて輝く汗

9月20日から22日まで、前橋総合運動公園などで国際交流サッカー大会U-12前橋市長杯を開催しました。国内のチームとオーストラリアのチーム合わせて24チームが参加。青空の下、けり合うボールが心をつなぎ、言葉の壁を越えて交流を深めました。



太古の記憶が刻まれた石

江戸時代の中ごろ、貞享元（1684）年に書かれた前橋風土記には「この石を砕こうと石工がのみを打ち込んだところ、石から血がほとばしり、石工は身体が震えた」

この巨石は、3つの石が集まっているように見えますが、実は1つの大きな石の塊です。高さは約10m、周囲は約70m。これまでは赤城山の噴火によってできた石、いわゆる「流れ山」が利根川によって浸食されたといわれてきましたが、近年になって、2万4、000年前の浅間山の崩壊に由来する石が、同じく利根川によって浸食されたという説も出てきています。この2つの説には、どちらも赤城山、浅間山という巨大火山と利根川が関わっており、人知の及ばぬ自然の力の雄大さやすまじさを想像することができます。

境内のイチョウが色づく季節。太古の自然の神秘を感じながら、巨石の淡いトキ色とイチョウの黄色のコントラストを楽しんではいかがでしょうか。

驚くべき自然の力

国指定天然記念物 岩神の飛石

昭和町三丁目、群馬大医学部から西へ約200m進んだ交差点の北西角に、飛石稲荷という神社があります。この境内にあるのが「岩神の飛石」。昭和13年12月14日に国の天然記念物として指定されました。

即死したので、石神として祭られたと書かれています。これが現在の岩神町の名前の由来となっています。

いにしえ万華鏡 その七

問い合わせは 文化財保護課 ☎2361-9531